

**第85回新生ふくしま復興推進本部
第8回福島イノベーション・コースト構想推進本部
合同会議 議事録**

- 日時：平成30年9月3日（月） 11：45～11：55
- 場所：特別室（本庁舎2階）

【畠副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

議題の報告事項

- (1) 国の平成31年度予算概算要求、
- (2) 福島イノベーション・コースト構想推進関連予算について企画調整部長。

【企画調整部長】

資料1を御覧ください。

これまで政府予算対策といたしましては、6月の国への提案・要望をスタートに、国との協議を重ね、先月9日の、福島復興再生協議会の場においては、知事から重点7項目について各大臣に直接要望したところです。

8月末に各省から財務省に提出された平成31年度概算要求の状況につきまして、資料左側、本県からの要望、知事から要望した重点7項目について記載し、資料右側に要望した結果について、概算要求の主なものをまとめております。

福島再生加速化交付金や特定復興再生拠点整備事業など、避難地域の生活環境整備に必要な予算や、心のケアやコミュニティ再生など被災者支援に関する事業が盛り込まれております。

また、風評・風化対策についても、放射線教育関連や、新たにHACCP（ハサップ）による衛生管理に放射性物質対策の考え方を取り入れたふくしま食品衛生管理モデルなどが盛り込まれました。

その他、新産業創出関係や、インフラ等の環境整備の予算についても、引き続き要求に盛り込まれているほか、税制改正要望において、福島特措法に基づく税制優遇措置の延長等も盛り込まれております。

今後は、この概算要求の状況等を精査するとともに、年末の政府予算の具体化に向け、全庁一丸となって取り組んでまいります。

続いて、資料2を御覧ください。

今ほど申し上げた概算要求の状況について、福島イノベーション・コースト構想推進関連予算について、主なものを整理いたしました。

資料左側の要望した項目に基づき国と協議を進めた結果、右側のとおり来年度概算要求に盛り込まれたところです。

「研究開発・産業集積」では、廃炉・汚染水対策が新たに盛り込まれ、ロボット・ドローン研究、先端農業ロボット研究、地域復興実用化開発に必要な予算などが概算要求に盛り込まれております。

「教育・人材育成」では、イノベ構想を担う人材育成に関する事業、大学等の「復興知」を活用した事業が盛り込まれております。

「交流人口の拡大や拠点周辺的生活環境整備」に関する予算も引き続き盛り込まれております。

「推進体制整備の強化」では、一般財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構の体制強化に必要な予算が盛り込まれております。

今後とも、国や市町村と緊密に連携しながら、構想の更なる具体化に向けてしっかりと取り組んでまいります。

【島副知事】

今の説明に関して、各部局長から発言いただきます。

避難地域復興局長。

【避難地域復興局長】

避難12市町村の生活環境整備、特定復興再生拠点区域の復興再生、避難者等の生活再建等、復興の進捗に応じた切れ目のない支援を要望してまいりました。

その結果、福島再生加速化交付金や被災者支援総合交付金など、必要な予算がしっかりと盛り込まれております。

特に、特定復興再生拠点整備事業は、昨年度と比較して300億円以上増の1,013億円が計上されたことから、帰還困難区域の再生が一層進むものと期待しております。

引き続き、着実な予算化に向け、関係機関と連携してしっかりと取り組んでまいります。

【島副知事】

続いて、生活環境部長。

【生活環境部長】

生活環境部関係では、特定復興再生拠点に係る経費のほか、中間貯蔵施設の整備、放射性物質汚染廃棄物の処理、さらには、除去土壌等の適正管理や搬出など、本県の環境回復の進展に応じた必要な予算が盛り込まれています。

この他、鳥獣被害対策や被災地における公共交通の再生など、県民生活の安定・向上を図るための予算が計上されております。

今後、これらの予算が確実に確保されるよう、引き続き、関係省庁と調整を進めてまいります。

【島副知事】

保健福祉部長。

【保健福祉部長】

概算要求に関して、まず、新規で重点要望しておりました「HACCP導入加速化による県産加工食品の信頼性の確保」について、HACCPの考え方を取り入れた「ふくしま食品衛生管理モデル」の構築と導入普及を通じて風評払拭を図るために必要な予算が計上されております。

また、この他にも、「被災者の心のケアへの支援」、「避難地域の介護サービス提供体制の再構築」について要望のとおり事業の継続が盛り込まれたところであり、当方の要望を国に受け止めていただけたものと考えております。

引き続き、復興庁、厚生労働省等との協議を密に、政府予算の獲得に向けて、国との調整を進めてまいります。

【島副知事】

商工労働部。

【商工労働部理事】

概算要求では、被災事業者の事業・生業の再生に必要な原子力被災事業者事業再開支援補助金の基金積み増しに係る予算等が計上されました。

また、福島イノベーション・コースト構想においては、福島ロボットテストフィールドや地域復興実用化開発等促進事業など、重点的に取り組む事業の予算が盛り込まれております。

新産業の創出及び産業再生については、水素社会実現のモデル構築に向けた事業のほか、自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金に係る予算等が計上されております。

今後も、これらの予算が確実に確保されるよう、関係省庁との調整を図ってまいります。

【島副知事】

農林水産部長。

【農林水産部長】

生産から流通・販売に至るまで、風評の払拭を総合的に支援する「福島県農林水産業再生総合事業」につきましては、平成30年度と同額の47.1億円が計上されました。

また、福島イノベーション・コースト構想に基づき、被災地域の農業の面的再開を図るため、「福島県営農再開支援事業」に、地域営農の核となる新たな経営体等による先端技術を活用した大規模な営農再開への取組を支援す

るメニューが追加されました。

農林水産業の再生と成長産業化に向けて、これらの施策が着実に予算化されるよう、頑張っまいます。

【副知事】

土木部長。

【土木部長】

資料1に記載したインフラ整備の他に、常磐道のいわき中央・広野間と山元・岩沼間の4車線化は2020年度までに、大熊ICは2018年度までに、双葉ICは2019年度までに完成を目指すことが概算要求に盛り込まれております。

また、東北中央道につきましては2019年度までに相馬市内で常磐道へ接続するとされております。

引き続き、必要となる予算の確保に向け全力で取り組んでまいります。

【副知事】

教育長。

【教育長】

教育関係で特に重点要望していた、教職員の加配及びスクールカウンセラーの配置の継続、ふたば未来学園高等学校及び併設中学校における教育活動や環境整備などに必要な予算が概算要求に計上されており、当方からの要望を踏まえたものになっていると受け止めております。

また、福島イノベーション・コースト構想関連にも、人材育成に関する予算が計上されており、構想を牽引するトップリーダーや専門的な人材の育成や、義務教育段階における理数教育の推進など、より一層、構想を支える教育・人材育成の充実に向けて取り組んでまいります。

引き続き、国と調整しながら必要な予算の獲得に努めてまいります。

【副知事】

他にありますか。

無ければ知事からお願いします。

【知事】

国の来年度概算要求の状況がまとまりました。

帰還に向けた生活環境整備の加速、風評払拭の取組、福島イノベーション・コースト構想の更なる推進に必要な産業集積の促進や人材育成などが盛り込まれるなど、おおむね本県要望を踏まえる形で、各省庁に対応していただきました。

これは、関係閣僚、政府関係者の皆さんが、福島県がいまだ有事であるという実情を受け止め、対応されたものであると考えております。

今後は、事項要求となっている項目を含め、年末の政府予算案に確実に盛り込まれるよう、引き続き、国との協議・調整を進めてください。

また、復興・創生期間の残りの2年間はもちろん、その後の体制・財源の確保も重要です。

引き続き、安心感を持って切れ目なく確実に復興を進めていくことができるよう全庁一丸となって取組を進めていきましょう。

【畠副知事】

以上で合同会議を閉じます。